

中川 ただあき 県政通信

Nakagawa Tadaaki Kensei Tsushin Water[水]

[第1号] ●発行日＝平成11年10月30日
●発行所＝中川ただあき後援会事務所

皆さま方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
今春の富山県議会議員選挙では、絶大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、県会議員としてスタートさせていただき、早速、教育警務常任委員会では副委員長に就任し、6月の委員会で質問もいたしました。また、県議会9月定例会本会議においては、初めて一般質問の機会を与えていただき、中沖県知事をはじめ各担当部長からも答弁をいただくなど、一年生議員として、多忙の日々を送らせていただいています。

皆さま方には、ご報告が遅れ、たいへん恐縮ですが、この度、中川ただあき県政通信[水(ウォーター)]を発行する運びとなりました。水は、私たちが生きていく上で欠かすことのできない貴重な資源。私は、富山県の誇れるこの水資源を守るとともに、清らかで人々に潤いを与えるような県政活動を行うことを使命として、私の日々の議員活動を皆さま方にご報告しながら、私の掲げた公約の一つでも早く実現するために頑張っていきたいと思っています。
今後とも、よろしくお願いいたします。

富山県議会議員

中川 忠昭

県議会平成11年度9月定例会本会議

初質問に、挑む。

教育警務常任委員会副委員長・
決算特別委員会委員に就任。

県議会平成11年度9月定例会本会議

初質問に、挑む。

9月24日(金)、本会議にて一般質問が行なわれました。
初舞台での内容を一部抜粋してご紹介いたします。



本会議で質問する中川ただあき

全県の田園構想が必要。

◎砺波平野を対象とした田園空間整備事業が採択されたが、県内にはまだまだ自然、歴史、伝統、文化、景観を有する田園空間があり、こうした空間や地域の保全が、今後の土地利用や開発、あるいは農村と街との交流を考える上で必要である。県全体の田園整備基本構想を樹立すべきと考えるが、所見を問う。

●本県では、北アルプスなど、広大な山地を豊かな水の源とし、森林と扇状地などの平野が形成されてきた。(中略)

田園空間整備事業の取り組みにあたっては、(1)地域資源を再評価し、保全・活用すること、(2)住民が行政と一体となって、地域づくり活動を展開することなどが重要であると考えている。

こうした考え方に基づく計画づくりや事業を他の地域に広め、実施していくかどうかは、現在、取り組んでいる砺波地域の田園空間整備事業の進行状況や事業の効果等を十分に見極めることが必要である。そのうえで、関係市町村や地域住民の意向等も踏まえ、十分検討していくべきであると考えている。(中沖知事)

広域都市計画の見直し。

◎富山・高岡広域都市計画区域の都市計画法に基づく市街化区域及び市街化調整区域の変更、いわゆる線引きの見直しが進められているが、その見直しの考え方及びスケジュール、さらに新総合計画との整合性について、どのように考えているのか。

●今回の線引き見直しについては、関係市町村からは94地区、約1,900ヘクタールもの市街化区域への編入要望が出されている。現在、県では、その絞り込みを行っているところである。

今後のスケジュールについては、農林水産省等との協議・調整を残しており、この協議・調整が整った後、公聴会の実施、関係省庁との協議、都市計画地方審議会、建設大臣許可など、都市計画変更の一連の手続きを進めていく。(白井土木部長)

研究技術開発の連携を。

◎今後、工業技術センターと県立大学との人事交流や連携を強化していくことが必要だが、今後の目標や取り組み方針はどうか。

●工業技術センターと県立大学とは、これまで連携・交流に努めてきたところであり、今後とも、(1)企業ニーズを踏まえた新分野での共同研究の実施、(2)大学教員とセンター研究員相互の人的交流や研修派遣、(3)研究施設や設備の相互利用など、幅広い分野で交流と連携を一層強化したい。(高塚商工労働部長)

◎大学間の競争が一段と激化する中、県立大学は、今後どのような方向を目指すべきと考えているか。

●激化する大学間競争の中で存在感を示すためにも、国際的に評価を受ける有能な人材や独創的な研究成果の拡大などが重要であると認識している。

今後、県立大学における将来構想策委員会の検討状況を踏まえて、産学官の連携強化や高度情報化推進などを早急に取りまとめ、21世紀に向けた魅力ある大学づくりにつとめたい。(中沖知事)



[その他の主な質問事項]

◎今後、特別養護老人ホームなどの施設を市街地に整備していく必要があると思うが、どのような支援策が考えられるのか、問う。

◎抜本的に県道の路線認定を見直し、県、市町村の役割分担を明確にし、効率的な道路整備・管理をしていく必要があると考えるが、所見を問う。

◎路線ごとの道路整備計画を作成する必要があると考えるが、所見を問う。

◎サービス産業の誘致にあたっては、企業用地を造成して売るというだけでなく、例えば、市街地の空きオフィスを紹介するなどの誘致策も検討する必要があると思うがどうか、問う。



中川原女性部の皆さんとともに



母の会(懇親会)にて自慢のノドを披露



横江堰堤での説明



町村大運動会にて

中川ただあき太田地区後援会



県政報告会(太田地区後援会)



県政報告会にて鏡開き(名鉄トヤマホテル)



夕涼み会(長勢甚遠代議士とともに)



山室中部校下・輪投げ大会にてあいさつ

中川ただあきの主な活動

- 4.30 ●全員協議会●臨時会(組織議会)●党議員総会
- 5.7 ●北陸新幹線対策特別部会
- 5.8 ●山室中部自治振興会総会●山室中部社会福祉協議会総会
- 5.17 ●県政勉強会(新人議員)
- 5.18 ●北陸新幹線対策特別部会●党青年議員連盟役員会
- 5.19 ●新幹線・総合交通対策特別委員会
- 5.20 ●富山広域圏議員総会
- 5.21 ●日韓親善協会総会
- 5.22 ●富山市民プール開場記念式典
- 5.24 ●正副委員長会議
- 5.26 ●行政視察(新人議員)
- 5.29 ●党富山市民連及び第一選挙区総会
- 6.1 ●外環状期成同盟会総会●富山立山線期成同盟会総会
- 6.5 ●党県連議員総会●党大会運営委員会●党県連大会
- 6.7 ●党勉強会●党建設交通部会●町内会長会議
- 6.9 ●教育警務常任委員会
- 6.10 ●新幹線対策連絡協議会
- 6.11 ●野球大会(北陸三県議会)
- 6.14 ●6月定例会本会議●正副委員長会議●党議員総会●党県連役員会
- 6.16 ●本会議(代表質問)●野球・ゴルフ議員総会
- 6.18 ●本会議(一般質問)●日朝友好議員連盟総会●都市問題議員連盟発足会●書道議員総会
- 6.19 ●南米協会定例会●富山市民・県議合合同総会
- 6.21 ●本会議(一般質問)●富山広域圏議員
- 6.23 ●予算特別委員会
- 6.24 ●教育警務常任委員会
- 6.25 ●本会議(採決)●党議員総会●新潟大学農学部総会
- 6.27 ●消防操法大会(富山方面団予戦)
- 6.29 ●新幹線・総合交通対策特別委員会(現地視察)
- 6.30 ●富山立山線期成同盟会総会●綾田北代線建設促進期成同盟会総会●豊友会総会
- 7.1 ●党勉強会
- 7.2 ●中川原女性部と語る
- 7.4 ●第9回青船会20周年祝賀会
- 7.5 ●富山港振興協議会定期総会●萩浦橋新設促進期成同盟会総会●富山重要要望説明会
- 7.6 ●新県民総合計画に係る講演会(中田哲雄)
- 7.7 ●滑川富山8号線バイパス建設促進期成同盟会総会
- 7.8 ●国際健康プラザ開館記念式典●富山の未来を新発想で考える会
- 7.9 ●農業土木技術研究会総会●富山消防操法大会
- 7.12 ●教育警務常任委員会重要要望陳情(東京、自治省・文部省)
- 7.15 ●党勉強会(富山市民・県議合合同について)
- 7.16 ●党勉強会●松川・いたち川改修促進期成同盟会総会●神通川水系改修期成同盟会総会
- 7.17 ●県政報告会(県庁OB)●中川勝三市政報告会
- 7.22 ●第35回全国献血運動推進大会
- 7.24 ●県政報告会(水橋上条)●山室荒屋新町公民館新築祝賀会
- 7.25 ●県政報告会(太田)
- 7.27 ●県政報告会(母の会)
- 7.28 ●教育警務常任委員会現地視察
- 7.30 ●県消防操法大会
- 7.31 ●ただあきと語る夕涼み会(中川原)
- 8.1 ●富山市民感謝のつどい●有志と語る会(高屋敷)●県政報告会(地すべり協会)
- 8.8 ●有志と語る会(流杉)
- 8.9 ●党青年議員連盟総会
- 8.10 ●党勉強会●党議員総会●日朝議員総会
- 8.11~12 ●党建設交通部会県外調査(愛媛県・広島県)
- 8.17 ●富山高校同窓会
- 8.21 ●富山市民総合体育館竣工式典
- 8.27 ●大手町第一種市街地再開発事業竣工式
- 8.30 ●党議員総会
- 8.31 ●ただあきと語る会(中屋)
- 9.1~2 ●東京(農林水産省他)
- 9.5 ●小淵総裁を激励する会
- 9.9 ●党勉強会
- 9.10 ●教育警務常任委員会
- 9.11 ●長勢甚遠を励ます富中・富高会
- 9.16 ●9月定例会本会議●郵政行政に関する打ち合わせ
- 9.18 ●久世参議院セミナー
- 9.19 ●町村大運動会
- 9.20 ●本会議(代表質問)
- 9.22 ●本会議(一般質問)
- 9.24 ●本会議(一般質問)●決算特別委員会(組織)
- 9.27 ●予算特別委員会
- 9.28 ●予算特別委員会
- 9.29 ●教育警務常任委員会●党勉強会●都市問題研究会
- 9.30 ●本会議(採決)●党議員総会

教育警務常任委員会で初質問。

6月24日(木)、常任委員会での質疑・答弁を一部ご紹介いたします。

子供たちに生きる場所を。

◎子供たちが生きる力をつけるためには生きる場所を提供することが必要だと思う。そこで、小・中学校の周りに水田があるところでは、水田を確保していろんな場面で活用するというようなことが必要かと思うが見解を伺いたい。

●平成9年度の小・中学校における農業体験学習の実施状況調査によると、学校農園を使用して農業体験を実施している学校は、小学校では76%、中学校では29%、農家の田畑を借りて行なっているのは、小学校が39%、中学校が14%となっている。

また、水稲栽培に取り組んでいるのは、小学校が30%、中学校が5%であり、ほとんどの学校では、野菜や草花、果実などの栽培活動に取り組んでいるところである。具体的な活動例としては、保護者や地域の人々を招待して交流を深めている学校、梨の人工受粉や村有林の倒木起こし等を行なっている学校などがある。農業や自然に親しむ体験学習は、勤労の尊さと収穫の喜びを味わうことができるなど豊かな心を育むうえでとても意義のあるものである。

今後とも各学校が地域社会と連携して体験活動の場を充実させていくことを期待しており、機会をとらえてその趣旨を伝えていきたい。(吉川指導課長)

県ができることは何か。

◎学校の周囲にある水田を借りるよう指導するとか、買い上げるとかできないものか。施設関係については市町村かもしれないが県が指導する、あるいは、県費を出すということについては、どうか。

●学校の教育内容、特に小・中学校については市町村教育委員会で行なっている。先ほどいったように体験活動は非

常に意義あるものであり、いろいろな機会をとらえて、その意義を市町村教育委員会に伝えていきたい。(吉川指導課長)

社会の人たちを講師に。

◎今後、社会を経験した人に教えてもらうこと、あるいは、高齢化社会を迎え、お年寄りの活用を図ることが必要となってくると思う。社会人の特別講師制度について前向きに検討してもらいたい、どうか。

●これまで県内の小・中学校では学校行事やクラブ活動においてボランティアで地域の人材を活用してきた。

また、高等学校では家庭科の社会福祉にかかる領域や中国語、ロシア語等の授業において特別非常勤講師制度を導入し効果をあげてきているところである。今年度からは、県内の各市町村の小・中学校のいずれか一校、合計38校で特別非常勤講師制度を試行的に導入し、卓抜した社会人の方に授業を担当してもらっている。

各学校から提出された計画によると、音楽では謡曲や尺八、理科では菊作りを通して草花の育ち方を調べる学習、社会では郷土の歴史や文化を学ぶ学習、美術では地域の美術家から直接絵画や彫刻の指導を受けるといった多様な活動が計画され、一部行われているところである。

今後ともサラリーマン等の退職者や学校教育に意欲のある高齢者の方で優れた知識や技能を有する方を含め、幅広い分野の方に特別非常勤講師として活躍していただきたいと考えている。(寺林教職員課長)

他に、◎教員研修の充実◎教員採用試験の要件などについて質問しました。

いっしょに創ろう、心豊かな社会



●中川ただあきシンボルマーク主旨
熱い思いで、心豊かな地域づくり、県づくりに全エネルギーを傾注する私自身の姿を、中川の頭文字「N」をモチーフに表現。手足を大きくひろげ、元気に活動する姿と重ね合わせています。

ごあいさつ

今春の富山県議員選挙では、「中川ただあき」を当選させていただき、誠にありがとうございました。これもひとえに皆様方の絶大なるご支援とご協力の賜物であると、厚く感謝申し上げます。

皆様方には、今後のご健勝をお祈りいたしますとともに、「中川ただあき」のさらなる飛躍のために、未永く見守り、ご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

中川ただあき県政通信[水(ウォーター)]第1号の発行に際しまして、ご挨拶とさせていただきます。

中川ただあき後援会会長 北野申喜

中川ただあき役職

- 教育警務常任委員会副委員長
- 決算特別委員会委員
- 党遊説局次長
- 党建設交通部会議員

中川ただあき後援会事務所

〒939-8015 富山市中川原368
TEL.076-425-1924/495-8739
FAX.076-425-1971

あなたのご意見や
アドバイスをお待ちしています。

★Eメールアドレス
chusho@mb.infoweb.ne.jp